

ベニカXファイン®スプレー 2016年9月15日作成

ベニカXファインは登録商標

実際に使用する際は、必ず商品に書いてある説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

←この色の部分が2016年9月7日付けで変更になりました。

[適用病害虫と使用方法]

※印は本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用時期	使用 方法	総使用回数※			
					本剤	クワアジソン	フェンプロパトリン	メネビリン
ばら	アブラムシ類、アザミウマ類、クロケ シツブチョッキリ、コガネムシ類成虫、 コナジラミ類、チュウレンジハバチ、 ハダニ類、ハモグリバエ類、ハスモン ヨトウ	原液	発生初期	散布	4回以内	4回以内	6回以内	5回以内
	うどんこ病、黒星病、灰色かび病		発病初期					
花き類・観葉植物 (ばらを除く)	アブラムシ類、アザミウマ類、コナジ ラミ類、ハダニ類、ハモグリバエ類、 ハスモンヨトウ		発生初期					
	うどんこ病、灰色かび病		発病初期					
つつじ類	アブラムシ類、ツツジグンバイ、カイ ガラムシ類、ケムシ類		発生初期					
	うどんこ病		発病初期					
ひいらぎもくせい	アブラムシ類、ヘリグロテントウノミ ハムシ、カイガラムシ類、ケムシ類	発生初期						
	うどんこ病	発病初期						
まさき	アブラムシ類、アオバハゴロモ、カイ ガラムシ類、ケムシ類	発生初期						
	うどんこ病	発病初期						
樹木類(つつじ類、 ひいらぎもくせい、 まさきを除く)	アブラムシ類、カイガラムシ類、ケム シ類	発生初期						
	うどんこ病	発病初期						
トマト	アブラムシ類、ハモグリバエ類、コナ ジラミ類	収穫前日 まで		散布	5回以内	6回以内	3回以内	4回以内
	灰色かび病							
なす	アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ 類、ハモグリバエ類							
	うどんこ病							
きゅうり	アブラムシ類、コナジラミ類、 うどんこ病							

【効果・薬害等の注意】

●使用に当たっては容器を良く振る（沈殿）。

- 花き類に使用する場合、花卉に薬液が飛散するとシミ等の症状が出る恐れがあるので、花にかからないように注意。
- ツノロウムシの防除に使用する場合は、虫令が進むと効果が劣るので若令幼虫を対象にする。
- おうとうにはかからないように注意（薬害）。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。

注：上記の「おうとう」はサクランボのことです。

【安全使用上の注意】

マスクマーク

- 体調のすぐれない時は散布しない。
- 人に向かって噴射しない。
- 散布時は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用する。
- 本剤は、のど、鼻、皮ふなどを刺激する場合、また、かゆみを生じる場合があるので注意する。
- 風向きなどを考え周辺の人家、自動車、壁、洗濯物、ペット、玩具などに散布液がかからないように注意。
- ミツバチ及び蚕に影響があるので注意して使用する。
- 街路、公園等で使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札を立て、散布中及び散布後（最小限その当日）に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。
- 使用後の空容器は3回以上洗浄してから処理する。

保管：飲食物・食器類やペットの餌と区別し、直射日光をさけ、密閉して、小児の手の届かない低温な場所に横にしないで立てて保管。

治療法：フェンプロパトリンには、メトカルバモール製剤の投与が有効（動物実験で報告）。